

教科	科目	単位数	学年	集団
外国語	英語コミュニケーションⅠ	3	Ⅰ年	

使用教科書	副教材等
Revised LANDMARK English Communication Ⅰ (啓林館)	サブノート、ワークブック、 必携英単語LEAP(数研出版)、Focus on Listening Basic (エミル出版)

科目の目標
英語学習の特質を踏まえ、聞くこと、読むこと、話すこと〔やり取り〕、話すこと〔発表〕、書くことの五つの領域別に設定する目標の実現を目指した指導を通して、学習指導要領第Ⅰ款の(Ⅰ)及び(Ⅱ)に示す資質・能力を一体的に育成するとともに、その過程を通して、第Ⅰ款の(Ⅲ)に示す資質・能力を育成する。

評価の観点とその趣旨	
知識・技能	・外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどについて理解を深めている。 ・外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けている。
思考・判断・表現	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりしている。
主体的に学習に取り組む態度	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。

学習と評価の計画													
時期	単元	単元の目標					総括のための観点別学習状況 の評価の記録					評価 場面	評価 方法
		主な領域			CE FR	主な領域において何ができるようになるのか	L	R	I	P	W		
		CAN-DO ID											
		領域	NO	記号									
4 ・ 5	1	W	1	ア	A1	高校生活における目標に関する内容を読んだり、聞いたりし、自分の高校生活における目標について、自分の考えを書いて伝えることができる。	知思態	知思態			知思態	授・定	PT/PFT
6 ・ 7	3	I	1	ア	A2	学校の制服着用について賛成か反対かに関する内容を読んだり、聞いたりし、制服着用について自分の意見を伝えあうやり取りを続けることができる。	知思態	知思態		知思態	知思態	授・定	PT/PFT
9 ・ 10	4	P	1	イ	A2	世界遺産の紹介に関する内容を読んだり、聞いたりし、外国人観光客におすすめの日本の観光地を紹介するために、必要な情報を、書いて伝えることができる。	知思態	知思態		知思態	知思態	授・定・他	PT/PFT
11 ・ 12	5	W	1	イ	A2	自分が住む街の病院にファシリティドッグ導入の提案をするために、導入の利点や自分の考えを書いて伝えることができる。	知思態	知思態	知思態		知思態	授・定	PT/PFT
12 ・ 1	7	W	1	イ	A2	ソーシャルメディアの活用に関する内容を読んだり、聞いたりし、自分のソーシャルメディアの活用法について、自分の考えを書いて伝えることができる。	知思態	知思態			知思態	授・定	PT/PFT
1 ・ 2	8	P	1	ア	A2	社会起業家に関する内容を読んだり、聞いたりし、自分のキャリアプランについて、自分の考えや気持ちを話して伝えることができる。	知思態	知思態			知思態	授・定・他	PT/PFT

※評価場面：授（授業内）、定（定期テスト等）、他（課題内容等）
※評価資料：PT（ペーパーテスト等）、PFT（パフォーマンステスト）、PT/PFT（ペーパーテスト等及びパフォーマンステスト）

備考欄

外国語科 年間指導計画

(令和6年度～)

教科	科目	単位数	学年	集団
外国語	論理・表現Ⅰ	2	1年	

使用教科書	副教材等
FACTBOOKⅠ English Logic and Expression (桐原書店)	総合英語FACTBOOK (桐原書店) FACTBOOK English Grammar Core FACTBOOK English Grammar Core Workbook

科目の目標
英語学習の特質を踏まえ、話すこと〔やり取り〕、話すこと〔発表〕、書くことの三つの領域別に設定する目標の実現を目指した指導を通して、第Ⅰ款の(Ⅰ)及び(Ⅱ)に示す資質・能力を一体的に育成するとともに、その過程を通して、第Ⅰ款の(Ⅲ)に示す資質・能力を育成する。

評価の観点とその趣旨	
知識・技能	・外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどについて理解を深めている。 ・外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの知識を、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けている。
思考・判断・表現	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、情報を整理しながら考えなどを形成し、日常的な話題や社会的な話題について、英語で話したり書いたりして、その情報や自分自身の考えなどを適切に表現したり伝えあったりしている。
主体的に学習に取り組む態度	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。

学習と評価の計画													
時 期	単 元	単元の目標					総括のための観点別学習状況 の評価の記録					評価 場面	評価 方法
		主な領域			CE FR	主な領域において何ができるようになるのか	L	R	I	P	W		
		CAN-DO ID											
		領域	NO	記号									
4	0	I	2	ア	A2	相手について今まで知らなかったことを聞き出し、自分自身について説明することができる。 〔基本文型〕			知思態			授・定	PT
5	TL1	W	2	ア	A2	自分の好きなことについて、まとまりのある文章を書くことができる。 〔時制〕					知思態	授・定	PT/PFT
6	4	I	2	ア	A2	相手が知らない情報について説明することができる。 〔完了形〕			知思態			授・定	PT
7	TL2	W P	2	ア	A2	適切な理由が示されたまとまりのある意見文を書くことができ、発表することができる。 〔助動詞〕				知思態	知思態	授・定・他	PT/PFT
9	5	I	2	ア	A2	お互いの状況を踏まえて問題解決の結論を出すことができる。 〔不定詞〕			知思態			授・定	PT
10	TL3	P	2	ア	A2	適切な具体例や説明が示された、まとまりのある意見を書き、発表することができる。 〔受動態〕				知思態	知思態	授・定	PT/PFT
11	8	I	2	ア	A2	おすすめの商品を比較しながら紹介することができる。 〔動名詞〕			知思態			授・定	PT
12	TL4	W P	2	イ	A2	賛成と反対の立場に分かれて簡単なディベートをすることができる。 〔分詞〕			知思態		知思態	授・定・他	PT/PFT
1	9	I	2	ア	A2	お互いの考えるよい方法を具体的に説明し合うことができる。 〔関係詞〕			知思態			授・定	PT
2	TL5	W	2	ア	A2	語句や文のつながりをよくして構成の整った意見文を書くことができる。 〔仮定法〕					知思態	授・定・他	PT/PFT

※評価場面：授（授業内）、定（定期テスト等）、他（課題内容等）

※評価資料：PT（ペーパーテスト等）、PFT（パフォーマンステスト）、PT/PFT（ペーパーテスト等及びパフォーマンステスト）

備考欄
